

日時：2006年7月28日(金)14:00～17:00

場所：九州支部事務局会議室

出席者：竹下支部長、志賀常議員、曾我常議員、太記常議員、森常議員、安井常議員、山成常議員、大井常議員、島岡常議員、趙常議員、西川常議員、堀常議員、山田常議員、木村前常議員、事務局(伊地知)

議事に先立ち支部長挨拶、出席者各自の自己紹介が行われた。

・前回議事録確認

下記議事録は、異議なく了承された。

1. 新旧常議員会議事録(案)(安井常議員) メールにて送付済み
2. 合同役員会議事録(案)(山成常議員) メールにて送付済み
3. 6月幹事会議事録(案)(大井総務幹事) メールにて送付済み

・報告事項

1. 本部関係報告

資料等に基づき、報告があった。

- (1) 6月理事会報告(竹下支部長) 資料-1, 回覧-1
- (2) 7月理事会報告(竹下支部長) 資料-2, 回覧-2
- (3) 7月支部長会議(竹下支部長) 資料-3, 回覧-3
- (4) 6月学術推進委員会(堀学術幹事) 資料-4, 回覧-4
- (5) 2005年度事業報告・収支決算書(志賀総務幹事) 回覧-5
- (6) 2006年度通常総会資料(志賀総務幹事) 回覧-6
- (7) 2006年度本会主要行事のお知らせ(志賀総務幹事) 資料-5
- (8) 理事会代行者の選出(志賀総務幹事) 資料-6
理事会代行者：大井尚行総務幹事

2. 支部関係報告

資料等に基づき、報告があった。

- (1) 5月・6月の支部事業報告について(志賀総務幹事) 資料-7
- (2) 5月・6月の支部会計報告について(森会計幹事) 資料-8
- (3) 2005年度支部消費税の請求について(森会計幹事) 資料-9
- (4) 2006年度支部通常総会の付随行事について(志賀総務幹事) 資料-10
 - ・記念講演会 参加者104名(昨年146名)
 - ・懇親会 参加者49名(招待者8名,事務局3名)
- (5) 「作品選集2007」応募について(志賀総務幹事) 資料-11
 - ・応募件数：15件(昨年18件)
 - ・第1回支部選考部会：6月14日(水)14時～16時,12件選定(現地調査)
 - ・第2回支部選考部会：8月11日(金)14時～開催予定(7件を選定予定)
- (6) 2006年度支部共通事業「設計競技」九州支部審査結果について(志賀総務幹事) 資料-12
 - ・作品応募数：79件(内応募規定違反3件・昨年76件) 支部入選数：17件
 - ・応募規定違反3件はすべて消印等により提出期限違反のあきらかなもの(太記学術幹事)

- (7) 2006 年度日本建築学会九州支部業績賞の推薦について (志賀総務幹事) 資料-13
- ・研究委員会と支所宛に推薦依頼済み (6/29 メール)
 - ・推薦がない場合, 常議員や幹事で照会を行なう団体を検討 (10 月末推薦締切)
 - ・今後「建築雑誌」等への広報も検討 (大井総務幹事)
- (8) 支部研究補助費によるシンポジウムの開催について (志賀総務幹事) 資料-14
- ・「登録文化財記念シンポジウム旧曾木発電所」7 月 29 日 (土) 13 時 30 分 ~ , 大口市
集中豪雨のため延期 2007 年 2 月開催予定
- (9) その他 (志賀総務幹事)
- 1) 2006 年度支部訪問に関する御礼 (村上会長より) 回覧-7
 - 2) 寄贈図書 回覧-8
 - ・日本建築学会東北支部研究報告集第 69 号 (構造系、計画系)
 - ・日本建築学会四国支部研究報告集第 6 号
 - ・日本建築学会北陸支部研究報告集 第 49 号
 - ・福岡県西方沖の地震の強震動と構造物被害の関係に関する調査研究
 - 3) 中村洋先生からのご寄付について (新建築学シリーズ, 朝倉書店)
 - ・6 月 23 日付け, 印税として 8,640 円 (昨年: 2,160 円)
 - 4) その他の各種案内 回覧-9

・審議事項

1. 2006 年度支部運営について (志賀総務幹事) 資料-15

資料等に基づいて説明があり、了承された。また、今後の幹事会、常議員会の日程が以下のよう
に確認された。

10 月幹事会: 10 月 25 日 (火) 11 月常議員会: 11 月 21 日 (火) 12 月幹事会: 12 月 28 日 (木)
1 月常議員会: 1 月 26 日 (金) 2 月幹事会: 2 月 8 日 (火) いずれも 14:00 開始
3 月常議員会、4 月幹事会、5 月新旧常議員会は未定
2. 常議員の担当について (志賀総務幹事) 資料-16

資料等に基づいて説明があり、了承された。
3. 2006 年度支部経営助成費の交付について (森会計幹事) 資料-17
 - ・未納の法人会員・賛助会員への納入依頼について

資料等に基づいて説明があり、了承された。また、法人・賛助会員に知己のある委員は、会員
が学会に期待する内容について可能な範囲でリサーチすることが申し合わされた。
4. 2006 年度九州支部研究発表会募集要項 (案) および日程 (案) (太記学術幹事) 資料-18

6 月幹事会の審議結果を受けて、大会に合わせた発表部門とは別に支部の研究報告集の分類を
研究発表申込書に記載する案が示され、以下の内容が決定された。

 - ・大会の 14 分類を「登録部門」、支部独自の 6 分類を「講演分野」とし、両方を記入する。
 - ・発表登録費を 2000 円 (昨年 1500 円) とする。(理由は の 2 の を参照)
 - ・昨年度同様 OHP ではなく PC プロジェクターを使用する発表とする。
 - ・ファックスによる登録は昨年度 16 件あり、特殊文字の場合も鑑み、来年度も可能とする。

募集要項 (案) については、以上を考慮して、決定稿を 9 月末までに作成。また、プログラム
編成作業の手順と日程 (案) については、異議なく了承された。
5. 2006 年度支部研究発表会実行委員会について (島岡常議員) 資料-19

日本文理大学内実行委員会の人員を説明。また、記念講演会と懇親会の計画について中間報告
がなされた。
6. 2006 年度支部共通事業「設計競技」について (志賀総務幹事) 資料-20
 - ・「設計競技」支部入選の表彰式について

・応募函面の返却先について

表彰式については、昨年度と同様とすること、返却については、常議員等に大学毎にまとめて郵送することが決定された。

7. 創立 120 周年記念支部共通事業「提案競技」について（志賀総務幹事） 回覧-10
会員の部の課題に対し、27 件の応募登録があったことが報告され、了承された。
8. 2006 年度九州支部研究補助費の交付内規の改定について（志賀総務幹事） 資料-21
資料等に基づいて説明があり、了承された。「九州支部研究フォーラム・シンポジウム」の公募について、少ない場合は支部の各研究委員会に改めて働きかけを行うことが説明された。
9. 受託調査の受託について（志賀総務幹事） 資料-22
 - (1) 調査事項：北山小学校・中学校の連携化に伴う施設構想
 - ・期 間：契約締結日より 2006 年 11 月 30 日まで
 - ・委 託 費：2,948,400 円（消費税を含む）
 - ・委 託 者：佐賀市教育委員会
 - ・受 託 者：日本建築学会九州支部 支部長 竹下輝和
 - ・調査特別委員会委員長：竹下輝和（九州大学教授）上記委託研究受託が本部 7 月理事会で承認されたことが説明され、了承された。
10. 休会中（8 月・9 月）の審議事項について（志賀総務幹事）
 - (1) 「2007 年度特色ある支部活動」の企画案の検討 資料-23
応募〆切：9 月 30 日
 - (2) 全国大会研究集会のテーマ立案
例年の照会先：研究委員会、締切予定：2006 年 10 月末
上の(1)、(2)について資料等に基づき説明され、了承された。
11. 2007 年度技術部門設計競技課題について（堀学術幹事） 資料-34
資料等に基づき、2007 年度技術部門設計競技課題提案の公募（10 月 3 日締切）及び 2007 年度大会の検討の報告（11 月 30 日締切）の説明があり、了承された。
12. 支部研究報告集目次検索サービスについて（志賀総務幹事） 資料-24
本会ホームページの検索ページに 2002 年度以降の支部研究報告集の目次を追加するためのデータの要望が本会事務局からあったが、支部の所有するデータと報告集の目次の項目が異なる場合があり、その訂正について、各研究委員会へ投げかけるなどの方法を学術幹事が検討する。
13. 大分県野津田園都市づくりの設計競技審査などの協力依頼について（竹下支部長）
上記協力依頼について、建築計画委員会で引き受けることが報告、了承された。必要に応じて都市計画委員会や大分支所にも協力を依頼することとする。
14. パート事務補佐について（志賀総務幹事）
7 月で退職のため、8、9 月で後任を探し、10 月以降に新採用したい旨説明があり、了承された。
15. その他
 - (1) 2006 年度運営資料の改訂について（志賀総務幹事） 回覧-11
資料等に基づき説明され、了承された。また、1 年目の常議員には、「(社)日本建築学会九州支部運営資料」が渡された。
 - (2) 議案書・議事録（案）の取り扱いについて（志賀総務幹事） 資料-25
資料等に基づき説明され、了承された。
 - (3) 作業所見学会実施状況について（志賀総務幹事） 回覧-12
 - ・リベラーガーデン 棟 35 名（7/5 実施済み）
 - ・熊本城本丸御殿大広間復元整備工事 5 名（7/7 実施済み）
 - ・日田市総合文化施設建築主体工事 18 名（7/22 実施済み）
 - (4) 沖縄支所長の交代について（志賀総務幹事） 回覧-13

山川哲雄先生から池田孝之先生（琉球大・都市計画）へ

- (5) 山川先生からの旅費規程についての要望について（志賀総務幹事）
支所からの旅費を辞退したい旨申し出があったが、支部としてはこれまで通り支出を継続。
- (6) 福岡支所準備委員会の立ち上げについて（竹下支部長） 資料-26
資料の通り承認された。2006 年度理事会承認、準備委員会にて規則、活動計画案を作成、2007 年 6 月正式発足。
- (7) 「福岡建築倶楽部」事務局会議への参加について（志賀総務幹事） 資料-27
6 月 20 日の会議に志賀総務幹事が出席したこと、福岡建築倶楽部へはまだ未加入で、福岡支所立ち上げ後正式に加入することなどが報告され、了承された。
- (8) 福岡建築倶楽部ヤフーカレンダーについて（志賀総務幹事） 資料-28
加盟団体間で行事スケジュールを管理するもので、ID とパスワードの取得が報告され、了承された。
- (9) 福岡建築行政研究会への参加について（志賀総務幹事） 資料-29
会則の改正など不明な点もあり、次回の幹事会に持ち越しとなった。
- (10) 学協会情報発信サービスに関するお知らせ（志賀総務幹事） 資料-30，回覧-14
安全のため、国立情報学研究所からの telnet サービスの停止とパスワードの変更を依頼する通知が報告され、了承された。
- (11) 後援名義の使用（依頼） 回覧-15
・福岡県美しいまちづくり賞（福岡県建築都市部住宅課）
資料等に基づき説明され、了承された。

・報告懇談事項

1. 担当幹事の役割分担について（竹下支部長）
2. 短期的課題について
全国大会の準備について（太記学術幹事(実行委関連)， 資料-31
堀学術幹事(本部学術推進委関連))
資料等により、大会の運営組織(大会委員会、実行委員会等)とそのメンバーが報告された。さらに、3 社候補のあがっている業者の委託は 8 月中に決定、10 月 3 日に第 1 回大会委員会、実行委員会が開催されるなど日程が説明された。
また、「(仮称)九州建築賞」事業などのため、大会を機に寄付行為を募り、基金づくりをしたい旨、支部長より説明があった。
- 九州建築賞の準備委員会について（堀学術幹事，志賀総務幹事） 資料-32
資料により、「(仮称)九州建築賞」事業の実施化検討について、表彰事業の目的、実施化の方針、実施化の検討スケジュール、作品賞の事業費など案が説明された。また、「日本建築学会九州支部主催「(仮称)九州建築賞」(案)が説明された。
後者に対し、後援に官公庁（九州地方整備局、九州各県及び政令市）を入れてはどうかという意見や「若手研究者および大学院生」を対象とする「研究奨励賞」に社会人入学の大学院生が対象となるような措置を望む意見がだされた。
- 支部研究発表会の運営について 資料-33
・電子投稿に関するプロジェクトチーム
(チーム長：木村前学術幹事，チーム：大井総務幹事，島岡常議員，山成常議員)
木村前学術幹事から、平成 18 年度インターネット発表登録と平成 19 年度以降の電子投稿に関し、業者委託した場合の費用やスケジュール、今後の課題等が報告され、意見交換がなされた。その結果以下のことがらが決定された。

- ・平成 18 年度からインターネット発表登録を業者委託するのは決定済み。その費用の内、イニシャルにかかる費用は支部の基金から支出し、毎年必要な費用は発表登録費の値上げ分でまかなうため、現行の 1500 円を 2000 円とする。
- ・平成 19 年度以降の電子投稿化については、引き続き上記のプロジェクトチームで検討する。その際会員のアンケートを取るため、2006 年度研究発表会募集要項にアンケートのアナウンスを行う。

法人会員のサービス対策について（森会計幹事，西川会計幹事）

- ・会員増
 - ・情報窓口と配信体制
- 次回検討事項。

3. 中長期的課題について
 - 建築諸団体との連携協力について
 - 受託研究対策について
 - 研究委員会・支所活動のあり方について

次回検討事項。福岡支所立ち上げも現行活動を見直す機会との支部長の意見が示された。

・次回会議日程

1. 10 月幹事会
日時：2006 年 10 月 25 日（火）14 時～
場所：九州支部事務局会議室
2. 11 月常議員会
日時：2006 年 11 月 21 日（火）14 時～（案）
場所：九州支部事務局会議室